

日本内分泌病理学会理事会 議事録

日時：2016年4月22日（金）12:30～13:45

場所：京都国際会館 5F 509A

出席者：山田正三 理事長、笹野公伸 副理事長、島津 章、方波見卓行、
屋代 隆、加藤良平、戸田修二、吉本勝彦、近藤哲夫、田辺晶代 の各理事
柴田洋孝、松野 彰 の各監事、長村義之 顧問

欠席者：岡本高宏（委任状あり）、亀山香織（委任状あり）成瀬光栄の各理事

議題：

<審議事項>

1. 役員改選の件

- 1) 選挙開票結果と次期理事候補者の承認
- 2) 次期理事長候補者の選定
- 3) 次期監事候補者について
- 4) 次期理事長推薦の理事候補者について

2. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件

3. 学会名称変更に関する臨時総会の件

4. 学術総会の開催時期に関するアンケートの件

<報告事項、一部要審議>

5. 第19回（2015年度）学術総会の報告（決算を除く）

6. 第20回（2016年度）学術総会の概要及び研究賞選考委員について

7. 第21回（2017年度）学術総会の準備状況

8. 活動計画の件

①日本病理学会（2016年5月12日～14日、仙台）における「初心者のための内分泌病理学教育セミナー」（共催）

②International Symposium on the Pituitary Gland and Its Related Systems
(September 1st - 5th, 2016)

③韓国との内分泌病理セミナー

④北米内分泌病理学会との関係の進捗情况及び今後の具体的な予定

⑤学会主導でのe-Book作製について

9. コンサルテーションの状況

10. 第90回（2017年度）JES学術総会プログラム委員会の結果

11. 会員の状況について

<その他>

12. 学会への寄付の状況と今後の予定

13. その他

冒頭、山田理事長より、欠席理事 3 名のうち、2 名から委任状が提出されているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

<審議事項>

1. 役員改選の件

1) 選挙開票結果と次期理事候補者の承認

・山田理事長より、2016 年 1 月に実施された選挙における当選者 6 名が下記の通り報告され、全員次期理事候補者として秋の評議員会・総会に諮ることが承認された。

次期理事候補（6 名、任期：2 期 4 年＝2016 年総会日～2020 年総会日、

但し、屋代理事候補は定年制により、また松野理事候補は半数改選の対象となるため、それぞれ 1 期 2 年＝2016 年総会日～2018 年総会日）

- 1 戸田修二 （当選）
- 2 屋代 隆 （当選）
- 3 吉本勝彦 （当選）
- 4 近藤哲夫 （当選）
- 5 田辺晶代 （当選）
- 6 松野 彰 （当選）

2) 次期理事長候補者(任期 2 年：2016 年総会日～2018 年総会日)の選定

・山田理事長より、上記の次期理事候補者及び第二期目再任予定 4 名の理事（山田正三、笹野公伸、方波見卓行、加藤良平）合計 10 名を対象として次期理事長候補者を選定したいとの発言があり、話し合いの結果、山田現理事長が全会一致で再任されることとなった。

3) 次期監事候補者（1 名、任期 4 年：2016 年総会日～2020 年総会日）の推薦

・山田次期理事長候補者より、井下尚子評議員を推薦したいとの提案があり、全会一致で承認された。なお、柴田監事は留任（任期：～2018 年総会日）である。

4) 次期理事長推薦理事候補者（3 名以内、任期 2 年：2016 年総会日～2018 年総会日）の推薦

・山田次期理事長候補者より、岡本高宏理事、島津章理事及び菅間博評議員を推薦したいとの提案があり、全会一致で承認された。

2. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件

・山田選考委員長より、応募のあった佐野賞及び亀谷賞各 1 件につき、選考委員会の審議経緯説明とともに、下記候補者を受賞者として推薦したいとの提案があり、それぞれ承認され決定した。なお、両受賞者への連絡にあたっては、選考委員会の意見を付けることとした。また、特別功労賞の推薦はなかった。

応募締切：2016 年 2 月末日

選考委員会（持ち回り審議）：2016 年 3 月 4 日～3 月 14 日

選考委員：副理事長、5 筆頭理事、当該年度会長

(1) 佐野賞

- ・中村 保宏 会員 (東北医科薬科大学)

テーマ：アルドステロン産生副腎腫瘍における分子病理学的特徴の解明と臨床応用

(2) 亀谷賞

- ・大池 信之 評議員 (昭和大学)

テーマ：腓混合型腺神経内分泌癌の臨床病理学および分子病理学的検討

3. 学会名称変更に関する臨時総会の件

・山田理事長より、2016年2月に開催した書面審議による臨時総会の結果が報告された。正会員 (= 議決権者 = 評議員・一般会員・学生会員) 現在数 265 (定足数 1/3 = 89) に対し、回答数 114 で総会は成立し、賛成 105、反対 9 の賛成多数により可決・承認されたこと、また名誉会員・功労評議員の参考意見を含めても賛成 115、反対 10 であった。なお、名称変更の実施は2017年度からとなる。また、本件を4月20日の日本内分泌学会の理事会に説明し、了承されたことも報告された。

・臨時総会の際、一会員から本学会は日本病理学会の分科会であるとのコメントがあったが、誤りであることを確認するとともに、北米の内分泌病理学会の分科会であることを確認した。

4. 学術総会の開催時期に関するアンケートの件

・山田理事長より、2015年12月に評議員38名を対象に実施したアンケートの結果が報告された。

回答者数 27名 (回答率：70.3%) で、「秋開催または秋にリレー開催等工夫する」が 19名 (回答者の 70.3%)、「4月の日本内分泌学会学術総会時に開催」が 8名 (回答者の 29.6%) であった。

・4月20日の6分科会理事長会議では、ステロイドホルモン学会を除き、概ね秋開催の希望者が多かったが、今後も継続審議されるとのことであった。

< 報告事項、一部要審議 >

5. 第19回 (2015年度) 学術総会の報告

・戸田会長から、学術総会への参加及び協力並びにトラベルグラント支給への謝辞があり、大会記録画像データが配布された。決算については秋の理事会で報告される。

6. 第20回 (2016年度) 学術総会の概要及び研究賞選考委員

・松野会長から、下記の概要紹介があった。

会 長：松野 彰 (帝京大学医学部脳神経外科学講座)

開催期日：2016年9月16日 (金) ~ 17日 (土)

開催場所：帝京大学板橋キャンパス大学棟

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-1211(代表)

テーマ：「基礎と臨床からみる内分泌」

予定日程

2016年9月15日(木)：17時より理事会、サンシャインシティ会議室 Room1

<http://www.sunshinecity.co.jp/co/conference/guidance.html#conference>

同日 19時より会長招宴、サンシャインシティ 59階 天空の庭 星のなる木

<http://www.ginza-cruise.co.jp/tenku-no-niwa/>

2016年9月16日(金)：シンポジウム「内分泌：病理と臨床クロストーク下垂体・甲状腺・副腎」、一般演題、ランチョンセミナー、評議員会・総会、イブニングセミナー、医薬品・医療機器・書籍展示、会員懇親会

2016年9月17日(土)：神経内分泌学会合同 international symposium 「視床下部・下垂体の全て」、一般演題、ランチョンセミナー、医薬品・医療機器・書籍展示

ホームページ：<http://www.nacos.com/jeps/convention.html>

・また、研究賞選考委員について審議が行われ、松野会長提案の通り、下記3委員が満場一致で承認された。

選考委員長 (=会長)：松野 彰

選考委員 (委員長指名)：田辺晶代、吉本勝彦、岡本高宏 の3理事

・松野会長から、学術総会決算が赤字になった場合の本学会の対応について問題提起があった。意見交換の結果、天災等のやむを得ない場合に限り、その都度理事会で審議することとした。

7. 第21回(2017年度)学術総会の準備状況

・田辺会長より、2017年10月26日(木)に理事会、27日(金)～28日(土)に学会開催との予告が行われた。

8. 今後の活動計画の件

①日本病理学会(2016年5月12日～14日、仙台)における「初心者のための内分泌病理学教育セミナー」(共催)

・笹野理事より、会員増加を目的として3日間連続で実施すること、セミナーのスライドは本学会ホームページで閲覧可能になっていることが紹介された。また、議題12に関連して、10万円を本活動に充てることが承認された。

②International Symposium on the Pituitary Gland and Its Related Systems

(September 1st - 5th, 2016)

・屋代理事より、ホームページが稼働しているの、詳細は参照されたいとの紹介があった。

③韓国との内分泌病理セミナー

・加藤理事より、本年の開催はないが、開催される場合は本学会が受け皿になるとの報告があった。

④北米内分泌病理学会との関係の進捗情况及び今後の具体的な予定

笹野理事が EPS2017 会長を務めるが、本学会会員の EPS への入会の広報活動を山田理事長とともにやることになった。

⑤学会主導での e-Book 作製について

・吉本理事より、Springer からの提案について説明があった。作製すべきテーマを山田理事長に集約したうえ(期限:5月連休明け)で、提案を受けるかどうか判断することとした。

9. コンサルテーションの状況

・近藤コンサルテーション委員長より、依頼件数は順調に増えているとの報告があった。

10. 第90回(2017年度、赤水会長)JES 学術総会プログラム委員会の結果

・方波見プログラム委員より、本学会提案のテーマは10題採択され高採択率であったことが報告された。詳細な資料は、次回のテーマ募集時に役員へ提供することとし、次期プログラム委員(第91回・92回担当)の田辺理事へ引き継ぐこととした。

11. 会員の状況について

・島津庶務筆頭理事より、年度初の会員数は279名で前年度(286名)に比べ若干減少したことが報告された。また、(議題4に関連するが)過去において関連学会とのリレー開催時に会員が増加したとの説明があった。

<その他>

12. 学会への寄付の状況と今後の予定

・山田理事長から、2014年度に帝人ファーマ(50万円)及び2015年度に日本イーライリリー(30万円)より寄付があったことが再度報告された。このうち、後者から「若手研究者育成」の名目で、昨年第19回(2015年度)学術総会のトラベルグラント20万円を支給した。また、今年度に議題8①の活動費に10万円充てることが今回承認された。

・他にファイザーが賛助会員になったことも報告された。

13. その他

・山田理事長から、事務局の伊佐潤子が2016年3月末日をもって退職したことが報告された。これに伴い本体の経理担当者等が業務を引き継ぐが、事務局業務の縮減に協力された

いとの要請があった。

以上

(記録：事務局・岸、理事長・副理事長・筆頭理事・会長：校閲済)